

病 院 開 設 事 前 協 議 書

((仮称) にこにこハウス医療福祉センター (中央))

様式 1

病院開設事前協議書

1. 開設者に関する事項

(開設者が法人である場合)

法人の種類	社会福祉法人		設立年月日	平成 13 年 1 月 19 日	
名称	社会福祉法人 芳友				
主たる事務所の所在地	神戸市北区しあわせの村 1 番 9 号				
代表者	氏名	石田 明人	住所		
法人の目的、事業	<p>多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。</p> <p>(1) 第 1 種社会福祉事業 (イ) 障害児入所施設の経営</p> <p>(2) 第 2 種社会福祉事業 (イ) 障害福祉サービス事業の経営 (ロ) 障害児通所支援事業の経営 (ハ) 移動支援事業の経営 (ニ) 病児保育事業の経営</p>				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名称	所在地	病床数	備考
	医療型障害児入所施設 療養介護事業所	にこにこハウス 医療福祉センター	神戸市北区しあわせの村 1 番 9 号	88	
自己資本比率 (医療法人の場合)	—				

2. 開設しようとする病院の概要

(1) 基本的事項

名 称	(仮称) にこにこハウス医療福祉センター (中央)			
開 設 の 場 所	神戸市中央区日暮通 5 丁目 5 番 8 号			
開 設 予 定 年 月	令和 4 年 2 月			
診 療 科 目	小児科、リハビリテーション科			
病 床 数	56 床 (一般 56 床・療養 床・精神 床・結核 床) (高度急性期 床、急性期 床、回復期 床、慢性期 床)			
特 色	重症心身障害児・者の日常生活支援を行い、医療、リハビリテーション、療育活動を提供します。			
開設趣旨及び 病床数設定の考え方 ・ 提供する医療の内容 ・ 当該地域の医療事情 ・ 近隣医療機関との連携等	基準看護又は新看護の内容(予定)		10 対 1	
	療養病床設置の予定	有 (床) ・ <input type="checkbox"/> 無	老人特定許可の予定	有 (床) ・ <input type="checkbox"/> 無
	規則第 30 条の 32 第 1 項の規定による特例		有 (号 床) ・ <input type="checkbox"/> 無	
	<p>・ 重症心身障害児・者 (重度知的障害、重度肢体不自由の重複障害の方) に医療、リハビリテーションを提供します。</p> <p>・ 神戸市内の重症心身障害児・者数は約 1,200 名、その内在宅生活をされている重症心身障害児・者は約 800 名と推定されます。神戸市内の入所施設は当法人運営施設「にこにこハウス医療福祉センター【神戸市北区】(定員 85 名)」1 施設であり、入所待機者が 80 名以上おられ、入所施設が不足しております。つきましては、神戸市が重症心身障害児・者の施設整備を進めている旧老人健康センター(神戸市中央区)を借り受け、当施設(56 床)を開設することにより入所待機の緩和を図りたいと考えております。</p> <p>・ 近隣医療機関は、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立医療センター西市民病院、神戸大学医学部附属病院、兵庫県立こども病院があり、にこにこハウス医療福祉センターも連携をお願いしています。</p>			
敷 地 の 状 況	面 積	4,212.34 m ²		
	自己所有予定 の 場 合	取得の状況	取 得 済 ・ 取得交渉中 ・ 未 交 渉	
		交渉状況		
	自己所有予定 でない場合	所 有 者	神戸市	
		使用形態	<input type="checkbox"/> 賃貸借 ・ その他 ()	
他法令解除 の 必 要 性	有 ・ <input type="checkbox"/> 無 内容 ()			

建物の状況	構造概要	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階地下1階建のうち地上1・2階 地下1階の一部 延床面積 3,458.79 m ²
	所有予定者	神戸市
	自己所有予定でない場合の使用形態	賃貸借 ・ その他 []
周囲の状況	交通機関	阪神 春日野道駅 徒歩7分、阪急 春日野道駅 徒歩10分、 JR 三ノ宮駅徒歩11分
	近隣の状況	別紙のとおり。

(2) 施設及び構造施設に関する事項

法定施設	診察室	2ヶ所	20 m ²	(科目 小児科、リハビリテーション科)		
	処置室	1ヶ所	11 m ²	(科目 小児科)		
	手術室	ヶ所	m ²	臨床検査施設	1ヶ所	14 m ²
	エックス線装置	C T装置、レントゲン装置				
	調剤所	1ヶ所	18 m ²	消毒施設	ヶ所	m ²
	給食施設	1ヶ所	85 m ²	洗濯施設	1ヶ所	13 m ²
	給水施設	地下1階受水槽室		暖房施設	パッケージエアコン、外気処理空調機	
	汚物処理施設	2ヶ所	8 m ²			
	分べん室	ヶ所	m ²	新生児の入浴施設	ヶ所	m ²
	機能訓練室	4ヶ所	138 m ²	談話室	1ヶ所	26 m ²
	食堂	1ヶ所	124 m ²	浴室	1ヶ所	79 m ²
病室	2床室	4室	80 m ²	4床室	12室	384 m ²
	床室	室	m ²	床室	室	m ²
	床室	室	m ²	床室	室	m ²
その他の施設						
階段、エレベーター	室内直通階段	2ヶ所、幅 1.2m、蹴上げ 15, 16 cm、踏面 27, 28 cm				
	避難階段	2ヶ所		エレベーター	ヶ所	
設備	放射線関係	診療用エックス線装置	有 (直接撮影装置、間接撮影装置、透視装置、C Tスキャナー、その他 ())			無
		診療用高エネルギー放射線発生装置	有 (直線加速装置、ベータトロン、(リニアック、ライナック)、その他 ())			無
		診療用放射線照射装置	有 (⁶⁰ Co 照射装置、 ¹²³ I 骨成分分析装置、その他 ())			無
		診療用放射線照射器具	有 (管、針、球、ビーズ、板、アプリケーション、その他 ()、使用核種 ())			無
		診療用放射線同位元素	有 ((使用核種))			無
	臨床検査施設	生化学一般		消毒施設	滅菌器	
	消防用施設	スプリンクラー		防火施設	防火扉、自家発電機	
	その他の施設					

(3) 人員に関する事項

管理者	氏名	前田 貢作	医籍番号	
	住所			
	主たる経歴	兵庫県立こども病院 副院長・小児外科部長 神戸大学大学院医学研究科外科学講座小児外科学分野客員教授		

人員配置計画							
職名	必要数	予定数	確保済人員	職名	必要数	予定数	確保済人員
医師	3.4	3.4	1	薬剤師	1	1	0
看護師	20	36	1	栄養士	1	1	0
准看護師	0	0	0	放射線技師		1	0
看護補助者	0	0	0	調理師		0	0
臨床(衛生)検査技師		1	0	事務員		3	0
理学療法士		2	0	その他		27	0
作業療法士		1	0	計	25.4	76.4	2

(4) 人員算定根拠 (計算式)

1日平均入院患者数 56名

1日平均外来患者数 6名

1日平均外来処方箋枚数 0枚

$$\text{医師} \quad (56 + 6/2.5 - 52) / 16 + 3 = 3.4$$

$$\text{薬剤師} \quad 56/70 + 6/75 = 1$$

$$\text{看護師} \quad 56/3 + 6/30 = 20$$

(5) 関係者との協議に関する事項

関係者	協議状況
地元医師会	令和2年10月16日 中央区医師会に説明。
市保健医療審議会 医療専門分科会	令和2年11月4日 神戸市保健医療審議会医療専門分科会で説明。
その他	

注) 地元医師会、市保健医療審議会医療専門分科会については、意見書等を添付すること。

意見書

社会福祉法人 芳友
理事長 石田 明人 様

この度、社会福祉法人 芳友（仮称）にこにこハウス医療福祉センター（中央）の開設につきまして、神戸市中央区医師会理事会にて協議させて頂きました。

協議の結果、神戸市内に不足している、重症心身障害児・者施設（医療型障害児・者施設）が充実することは望ましいことであると考えております。

今後とも近隣の関係機関との連携を密にし、また医師会の一員として地域医療に貢献して頂くようお願い致します。

令和2年10月23日

神戸市中央区医師会
会長 米田



令和2年 月 日

神戸市長 殿

社会福祉法人 芳友
理事長 石田 明人

誓約書

令和4年2月開設予定 社会福祉法人芳友（仮称）にこにこハウス医療福祉センター（中央）（医療型障害児・者施設 56床）は、重症心身障害児・者施設であるので、重度の知的障害、及び重度の肢体不自由が、重複している重症心身障害児・者以外の一般の入院の患者を入所させることはありません。

念のため本書を差し入れます。

以上

新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	(仮称) にこにこハウス 医療福祉センター (中央)	所在地	神戸市中央区日暮通 5 丁目 5-8		
電話番号	078-743-2525	二次医療圏域名	神戸市	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色 (提供しようとする医療の内容)

(1) 医療の分野について (対象患者、診療科目等について)

対象患者は重度の知的障害、重度の肢体不自由が重複した児童及び児童期に重複障害を
発症した満 18 歳以上の方です。重症心身障害児・者の方は、精神発達遅滞、脳性麻痺、
てんかん、精神症状、感覚 (視覚、聴覚、知覚) 障害などを有している方です。
診療科目は小児科、リハビリテーション科としています。

(2) 医療の専門性について (設備・医療スタッフ等についても記入すること。)

医療設備として全身用 X 線 CT 装置、一般撮影装置、生化学検査機器、脳波計を整備
します。
医療スタッフの看護師配置基準は 10 対 1 とし、社会福祉士、介護福祉士などの日常生活
支援職員を看護師と同数程度配置することにより、直接介護比率を 1:1 として入所利用
者に対する手厚い支援を目指します。また、リハビリテーションスタッフを配置すること
により利用者の機能維持に努めます。

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区 名
神戸市	東灘区、灘区、中央区、兵庫区、北区、長田区、須磨区、垂水区、西区

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

重度の知的障害、重度の肢体不自由が重複した児童及び児童期に重複障害を
発症した満 18 歳以上の方です。重症心身障害児・者の方は、精神発達遅滞、脳性麻痺、
てんかん、精神症状、感覚 (視覚、聴覚、知覚) 障害などを有している方です。
重症心身障害児・者のケアは個別性、専門性が高く、其々の専門職の関わりが重要と
なります。現在は、にこにこハウス医療福祉センター1 施設ですが、当施設の開設に
より、入所待機者の緩和を図ります。

(3) 既存の医療機関について、(特に、提供しようとする医療が同じものについて)

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備 考
にこにこハウス医 療福祉センター	88	小児科 リハビリテーション科	相互に連携	

② 診療所の状況について

{ なし。 }

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

{ 神戸市内の重症心身障害児・者数は約 1,200 名、その内在宅生活をされている重症心身障害児・者は約 800 名と推定されます。神戸市内の入所施設は当法人運営施設にこここハウス医療福祉センター1施設であり、入所待機者が 80 名以上おられ、入所施設が不足しています。今後は在宅利用者の介護者が高齢化により、入所希望者が増加することが予測されます。 }

2. 医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

{ 神戸市より重度障害児者医療福祉コーディネート事業を受託し、神戸市内の医療的ケアを必要とする重症心身障害児者の連絡調整に必要となる情報登録書の作成・登録を行い、利用者の状態を把握しています。 }

(2) 医療機関との連携

医療機関名	内容	具体例	医療機関名	内容	具体例
神戸市立医療センター中央市民病院	①③⑤	急性増悪時の患者紹介			
神戸市立医療センター西市民病院	①③⑤	急性増悪時の患者紹介			
神戸大学医学部附属病院	①③⑤	急性増悪時の患者紹介			
兵庫県立こども病院	①③⑤	急性増悪時の患者紹介			
こここハウス医療福祉センター	①②	患者の紹介			

〈注〉内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
- ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助
- ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機関名	連携の内容	備考
こここハウス医療福祉センター	居宅介護、重度訪問介護	

〈注〉医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設（老人関係、精神関係、身障関係）等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加（住民の健康管理等）

{ 在宅重症心身障害児・者を含む障害児・者の相談窓口 }

4. その他の特記事項

{ なし。 }

開設に要する資金

資金計画

(単位：千円)

項 目	所 要 額	自己資金	借 入 金			備 考
			神戸市※			
土地購入費						
設計管理費						
建物建設費						
医療機器購入費	12,400		12,400			
什器備品購入費	17,600		17,600			
保証金						
諸税						
開設時運転資金	170,000		170,000			
その他費用						
計	200,000		200,000			

返済計画

金融機関名	返済条件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据 置 期 間	償還回数 年×年	利 率 %		R4年4月 ～R5年3月	R5年4月 ～R6年3月	R6年4月 ～R7年3月	R7年4月 ～R8年3月	R8年4月 ～R9年3月
神戸市※	3	年1回 (7回)	1.475%	元本	0	0	0	28,571	28,571
				利息	2,950	2,950	2,950	2,528	2,107
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
合 計				元本					
				利息					
年度末借入金残額									

※ 予算が議会の議決を経て、成立することを前提とする。

損益的収支予算書（総括）

（単位：千円）

	初年度 (R4年6月～R5年5月)	次年度 (R5年6月～R6年5月)	3年度 (R6年6月～R7年5月)	4年度 (R7年6月～R8年5月)	5年度 (R8年6月～R9年5月)
I 医業収益	349,401	582,326	769,612	769,612	769,612
II 医業費用	426,514	538,619	687,991	693,201	698,790
医業利益(医業損失)	△77,113	43,707	81,621	76,411	70,822
III 医業外収益	1,420	2,400	3,000	3,000	3,000
IV 医業外費用	4,370	5,350	5,950	5,528	5,107
經常利益(經常損失)	△80,063	40,757	78,671	73,883	68,715
V 特別利益	0	0	0	0	0
VI 特別損益	0	0	0	0	0
税引前当期利益(税引前当期損失)	△80,063	40,757	78,671	73,883	68,715
当期純利益(当期純損失)	△80,063	40,757	78,671	73,883	68,715
前期繰越利益(前期繰越損失)	0	△80,063	△39,306	39,365	113,248
当期未処分利益(当期未処理損失)	△80,063	△39,306	39,365	113,248	181,963

資本的収支予算書

（単位：千円）

	初年度 (R4年6月～R5年5月)	次年度 (R5年6月～R6年5月)	3年度 (R6年6月～R7年5月)	4年度 (R7年6月～R8年5月)	5年度 (R8年6月～R9年5月)
資本的支出	建設改良費	0	0	0	0
	借入金（元本）償還	0	0	0	28,571
	固定資産購入費その他	30,000	0	0	0
	計	30,000	0	0	28,571
財源内訳	内部資金	0	0	0	28,571
	借入金	30,000	0	0	0
	補助金	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	計	30,000	0	0	0
財源不足額	0	0	0	0	0

附近見取図

神戸市中央区日暮通5丁目5番8号

